

師走となりました。昨年から 1 年半以上取り組めなかった上京要望活動も復活しましたが、この時季の温度差には閉口します。氷点下から日中 18 度の 11 月末の東京でした。コロナ感染拡大が少し落ち着きを見せながらも、新型株の感染や追加予防接種など国も自治体も準備中です。

消防出初式や町の新年賀詞交換会は今のところ縮小簡素化して計画されています。今年一年間頑張ってくれた職員に、早く年末休暇を取りやすくするため、昨年同様に仕事納めの挨拶は 30 日から 27 日に前倒ししました。役場自体は 30 日まで開庁しています。昨年も冬のはじめは穏やかでした。12 月上旬でも雪の無い状態地球温暖化のせいだとしたら、ゼロカーボンにどんな取り組みをすべきか考えてしまいます。北海道の日本海沿岸部は風力発電の立地に恵まれているといわれ、最近洋上風力の話も耳にします。私見ですが、天塩市街地より北側について、日本海・利尻富士・天塩川と森林牧草地の景観のなかにおいて、風力発電が似合わない気がしています。天塩川の対岸は国立公園区域であり、先日筑波大学の研究の一部にこの地域の夕日の美しさの特殊性が書

かれていました。何を守り、地域の発展を願うか、議論が必要だと思えます。

ふるさと納税に多くの皆様のご協力を得ています。今年の春から旧農業共済組合の診療所跡を農林水産品の加工施設に改築してきました。本町に 5 千頭いる和牛の製品化も始まっています。今は水産品のうち鮭トバを製作できるよう工事中です。私も手作りしたことがあります。乾燥味付けがむずかしく、大半は失敗してしまいました。てしお和牛と鮭トバを肴にワインか日本酒をいただきたいものです。